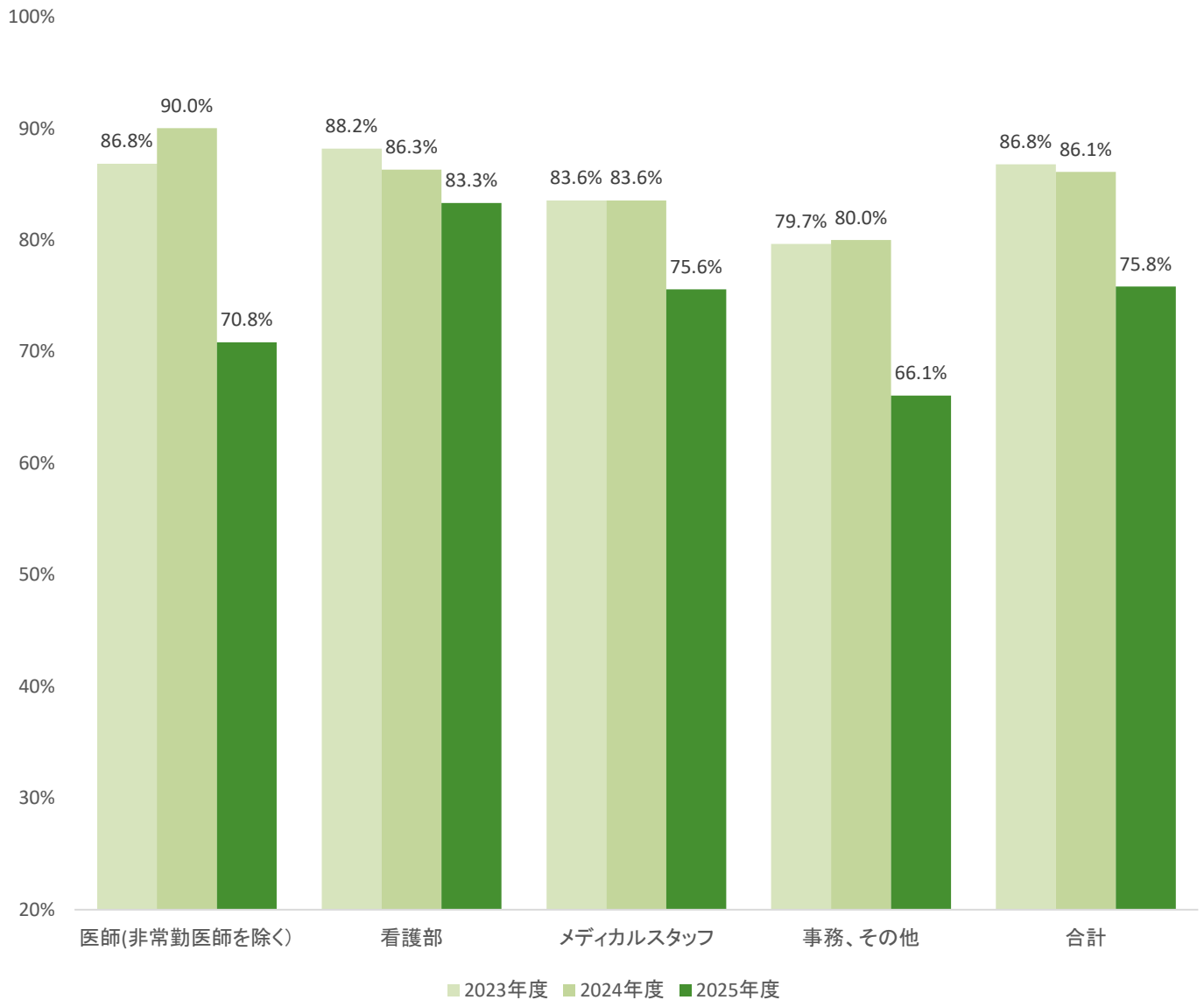


2023年度－2025年度 職種別インフルエンザワクチン接種率推移



【指標の説明】

医療機関を受診する患者さんは、免疫力が低下していることが多く、病院教職員からの感染を防ぐ必要があります。また、病院教職員も患者さんから感染するリスクを軽減させる必要があります。

2025年度は、別施設で接種する職員(産休中や長期出張 など)を、接種対象者から除外したため、院内接種率は低くなりました。

しかしながら、教職員も自身の体調が気になれば、積極的に院内でPCR検査を実施するなど、体調管理は徹底しています。

【計算方法】

分子: インフルエンザワクチンを予防接種した病院教職員数

分母: 病院教職員数

分子/分母 × 100